

第5学年*組 学級活動（1）指導案

指導者 ** **

1 議題 「5の3国体」の計画を立てよう

2 議題について

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。休み時間に、みんなで外遊びをしたり、何人かで楽器を演奏したりと友達と仲よく過ごすことができる児童が多い。ただ目的ある集団活動になると自分の役割が把握できず、協力しようとしても戸惑ってしまう児童が見られる。

また、4月からこれまでに、学級委員を中心に学級目標や係活動などについて話し合いは行ってきた。しかし積極的に発言できる児童と、意見はもっていても発表することが苦手で周りに合わせてしまっている児童とがいて、学級全体としての話し合い活動にはなっていない。

実態調査（令和元年*月*日実施 男子*名 女子*名 計*名）

調査項目	回答
① 自分の意見を言うのは好きですか。	・はい*人 ・どちらかといえばはい*人 ・どちらかといえばいい*人 ・いい*人
② 自分の意見を言おうとしていますか。	・はい*人 ・どちらかといえばはい*人 ・どちらかといえばいい*人 ・いい*人
③ 話し合いで、友達の意見と自分の意見が違ったとき、どのようにしていますか。	・相手に合わせる*人 ・自分の意見を発表する*人 ・友達の意見と自分の意見を合体させる*人 ・その他*人

実態調査を見ると、自分の意見を発表するのが好きな児童が全体の三分の二と多く見られた。好きではなくても言おうとしている児童もいる。また、友達の意見と自分の意見が違ったときには、自分の意見を通すことを考えてしまうか、自分の意見を言わずにすましてしまう児童が多く、妥協点を見つけたり、折り合いをつけたりするという考えに至っていない児童が多い。

本学級では、4月からの2か月間でロング昼休みの時間を利用してクラス遊びを実施してきた。6月になり、議題箱には、「1学期の思い出を振り返り、みんながもっと仲よくなるような活動をしたい。」という提案が見られるようになった。「体を動かす活動をしたい。」という提案や「室内遊びを自分たちで企画して行いたい。」という提案が見られた。このことから自分たちの学級を、自分たちで楽しくしていこうとする考えが出てきている。

そこで、自分たちで話し合いや準備をすることを目標に、お楽しみ会を計画することを計画委員会で議題に設定した。今年は茨城県で国民体育大会が行われるので、「5の3国体」と名付けた。

話し合い活動を通して、みんなが楽しめるような工夫を考えたり協力して準備したりすることを通して、充実感や達成感を味わい、今後さらに友情を深めていこうという態度につなげていきたい。

3 目標

クラスみんなが楽しめるような工夫を考えたり協力して準備をしたりして、思い出に残る「5の3国体」を成功させ、友情を深めよう。

4 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、進んで自分の考えやその理由を伝え合って、協力して話し合おうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために考え、多様な意見のよさを生かしたり、自分の言葉で建設的な意見を述べたりしながら話し合っている。	みんなで楽しくゆたかな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5 活動計画と評価計画

活動日時	活動内容	活動主体	関心	思考	知識
6/6（朝の会）	アンケートの実施	全員	◎		
6/7（昼休み）	議題案の確認、役割分担	計画委員			◎
6/10（朝の会）	議題決定	全員	◎		
6/14（昼休み）	内容の検討	計画委員		◎	
6/24（帰りの会）	自分の意見をまとめ、学級会ノートに記入する。	全員		◎	
6/25（昼休み）	話し合いの順序や役割分担等を確認する。	計画委員	○		◎
【本時】 （学級活動）	「5の3国体」の計画を立てよう	全員	○	◎	

6 本時の活動

(1) ねらい

クラスみんなが楽しめて、友情を深められるような活動にしようというねらいを理解し、意見を出し合いながら妥協点を見つけたり、折り合いをつけたりしながら「5の3国体」の計画を立てることができる。

(2) 準備・資料

学級会ノート、話し合いのめあての拡大表示、話し合い項目等の掲示物、司会マニュアル

(3) 展開

第5回 さわやか会議 活動計画	
議題	「5の3国体」の計画を立てよう
提案理由	1学期の最後にみんなが「楽しかった」「がんばった」と思える活動をして、みんなともっと仲よくなりたいから。
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ対抗でポイント制にして競う。 ・使える時間は2時間まで。 ・運動以外のものも活動に入れる。 ・活動場所は（体育館・教室・グラウンド）
話し合いの順序	活動への支援及び評価 (評)は評価
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合えるよう、元気に始めるよう助言する。 ・机をコの字型にして話し合いがしやすいようにする。
2 計画委員紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の児童には、自分の役割を自覚させるため、自分のめあてが言えるように、事前に指導する。
3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いを全員が理解し、話し合いの中心となるよう事前に指導する。
4 提案理由の発表	
5 めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全員でめあてを読み、提案者の思いを意識させる。 ・話し合いのめあてを掲示し、常に振り返りさせながら、話し合いを進められるようにする。
6 決まっていることの確認	
7 話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・競技については、事前活動で記入したワークシートをもとに「提案理由に合っているか」「実現性があるか」をみて計画委員で事前に絞り短冊で提示して、「くらべ合う」活動から始める。 ・話し合いのめあてを意識し、話題がそれそうになったときには、「提案理由」や「めあて」を確認しながら進めるように助言する。 ・発言者が偏らないよう助言するとともに、発言できない児童には期間指導を行いながらワークシートを確認させ、発言できるように支援する。 ・自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けることも必要であることについて助言する。
①どんな競技をするか	
②グループ編成にするか	
③どんな係が必要か	
8 決まったことの発表	(評) みんなが楽しめるような工夫や準備などを、友達の意見のよさを生かしたり、自分の言葉で意見を述べたりしながら話し合っている。 【思考・判断・実践】(観察、学級会ノート)
9 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点などについても相互評価ができるように助言する。 ・提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛する。 ・計画委員へのねぎらいの言葉をかけるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉かけをする。
10 先生の話	
11 おわりの言葉	

7 事後の児童の活動と支援

活動日時	活動内容	活動主体	指導上の留意点
7/2～7/8 (休み時間)	係の準備	各係	<ul style="list-style-type: none"> ・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。
7/9 (学級活動) (帰りの会)	「5の3国体」 会終了後、振り返りを記入	全員	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返り、今後の生活に生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。